弓削商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	航海学 1 (航海)	
科目基礎情報							
科目番号	3A27		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	航海学 (上巻) : 辻稔・航海学研究会 (成山堂)						
担当教員	多田 光男						
到達目標							
地文航海学に関する知識及び基本算法・理論を修得させる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 地文航海学の専門用語や略記等が理解できる	詳細に理解している		だいたい理解している		理解していない		
評価項目2 航海算法の計算ができる	すべての航海算法を理解し、計算ができる		基本的な航海算法を理解し、計算ができる		基本的な航海算法について計算ができない		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 E1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	板書を中心に授業は行うが、プリント、海図などを利用し、適宜演習を行う。						
注意点	養成施設引当て科目 (単位) : 航海コース [地文航法(1.0)]						
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	講義内容のガイダンス		講義の進め方や講義内容の理解		
		2週	地文航海学で使用する主な専門用語の解説		地文航海学の用語の理解ができる		
		3週	単位換算、針路改正法等の基本算法(1)		基本算法の計算ができる		
		4週	単位換算、針路改正法等の基本算法(2)		基本算法の計算ができる		
		5週	平面航法		平面航法が理解できる		
		6週	流潮航法		流潮航法が理解できる		
		7週	連針路航法 (日誌算法)		連針路航法の理解ができる		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	距等圏航法		距等圏航法が理解できる		
		10週	平均中分緯度航法		平均中分緯度航法が理解できる		
		11週	漸潮緯度航法		漸潮緯度航法が理解できる		
		12週	大圏航法(1)		大圏航法が理解できる		
		13週	大圏航法(2)		大圏航法が理解できる		
		14週	集成大圏航法(1)		集成大圏航法が理解できる		
		15週	集成大圏航法(2)		集成大圏航法が理解できる		
		16週					
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
知識の基本的な理解	6 0	1 0	0	0	0	0	0
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	0	1 0	2 0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0